

新潟スギのアテの秘密

株式会社 榎戸材木店
会 長 榎戸 正人

木材市場には宮崎や秋田など様々な産地のスギが売られており、売り子さんや他のお客さんと産地の話をしたりします。その中で新潟のスギはアテがきつく、とても良材とは言えない、山が急なんだろうねと言う話を耳にしました。

確かに新潟は雪国のイメージで、急な山に降り積もった雪が思い起こされますが、良材のスギの産地である秋田も似たような環境のはず。どうして新潟のスギはそんなにアテが強いのだろうと不思議に思っていました。新潟の建設業者に知人がいますが、社有林はあるもののアテでクレームが来るので、自社物件の火打ち土台や束など狂っても当り障りのないところにしか使えないと言っていました。

前述のように新潟は雪深い土地が多いので、おそらく以前は梁などにも使用し、アテの凸面を上に使って強度を確保しているのかと思ったら、その建設業者の話では逆に凸面は下向きに使うのだとのこと。凸面を上にとすると雪の重さが掛かった時に梁が伸びて柱間隔が開いてしまい、家の強度が落ちて雪の荷重に耐えられないのだそうです。凸面を下にして使えば、逆に柱は締め付けられるように内側に引っ張られるので、家は丈夫になり雪の重さにも耐えられると聞いて、それぞれの地域にはそれぞれの建て方の工夫があるのだと感心しました。

しかし、どうして新潟のスギにはキツイアテが多いのかは知らないようで教えてもらえませんでした。ところが昨年夏に長男、長女の家族と我が家一族全員で新潟の十日町市のリゾートホテルに旅行したとき、ついにアテの原因を発見したのです。

そのリゾートホテルには併設したアスレチック施設があり、皆で遊びに行きました。かなり本格的なアスレチック施設で、このリゾートのウリの一つとなっています。小さな子供も本格的な安全装備を付けさせてもらい、安全ベルトをロープに取り付ける方法も教わります。

でも、小学生以下の子供は初級コースのみ。大人向けの中級、上級コースになると、かなり難易度は高くなります。上級コースは高齢者は不可。安全のためには仕方ありません。

受付事務所の横にある敷地に生えていたスギ





は、みな見事なまでに曲がって生えていたのです。決して急な斜面ではなく、なだらかな土地なのに何が気に食わなかったのか斜めに生えて来て途中で天に向かって成長しています。元に近い部分は完璧なまでのアテ。これでは元から1.5メートルくらいまでは、まともに使えません。

原因は冬に降った雪が、なだらかといえども斜面を滑っていくときにスギの若木を押して曲げてしまうことだとわかりました。より傾斜がきつければ、さらに曲がり激しくなるでしょう。これでようやく、新潟スギのアテの謎が解決。旅行をしたときに、その地域の山林も見て歩くと意外な発見があるかもしれません。

この十日町市のリゾートホテル、「あてま高原ベルナティオ」は、お子さんやお孫さんと訪れるには良い施設で、食事も美味しく価格もリーズナブルです。人気があるので予約を取るのは大変らしいですが、ぜひ、お勧めいたします。

元々はゴルフ場に併設されたホテルだったようですが、冬場、雪に埋もれる場所にゴルフ場を作ると言うのは無謀なプラン。結局、経営が上手くいかずに大手デベロッパーに支援を仰ぎ、有名な不動産開発・旅行会社のアイデアにより、今の形になったそうです。今ではリゾート施設としては全国の人気投票でベスト3に入るほどだそうです。

子供連れが多く、関西からも沢山の客が訪れていました。でも、外国人は少なかった……観光地と言うわけではないので、仕方ないでしょう。それが逆に、日本人がくつろぐには有り難い結果となっています。温泉の大風呂で中国語が飛び交うのには辟易していますので。また行きたいと思っていますが、子供が中学生くらいになったらフィールド・アスレチックに興味を持つかどうか……子供に合わせた旅行は大変です。